

2007～2008年度



広島廿日市ロータリークラブ会報

本年度会長方針：「笑顔で奉仕・笑顔で親睦」

■事務所／〒738-0015 廿日市市本町5番1号廿日市市商工保健会館4F
TEL(0829)31-5490 FAX(0829)31-5491 E-Mail hsrc@mx41.tiki.ne.jp
http://jns.ixla.jp/users/jun8610793/index.html

例会日／毎週月曜日 12：30～13：30
例会場／広島サンプラザTEL(082)278-5000
会長／下向 繁美 幹事／杉江 孝

◆ No.280 ◆

第 546 回 2007 年 10 月 29 日
職場訪問例会
於 広島市水産振興センター

幹事報告

- ① 他クラブの例会変更
10/31(水) 広島東 RC 休会
11/7(水) 広島東 RC 職場訪問例会へ変更

<施設見学>



水産部 普及指導課 主任 鈴木尚史 氏

広島市水産振興センターは、広島市域における水産業の振興を図るため、栽培漁業の推進、養殖技術の普及指導を行うとともに、施設を一般公開し、漁業者や市民に対して水産に関する情報の提供、知識の普及啓発を行っています。

海水温、塩分濃度の調査をはじめ、栽培漁業課では7種の水産動植物（アユ、黒鯛、まこがれい、すずき、がざみ、もくずがに、わかめ）の種苗生産と新魚種開発試験を行っています。



(最新活動状況)

9月11日の、18,000尾のオニオコゼ稚魚を似島へ放流しました。6月8日にふ化した時は3.5mmしかありませんでしたが、約3カ月間の飼育で全長40mmに成長しました。現在、約32,000尾のオニオコゼ稚魚をセンターで飼育しており、今後、広島市の沿岸域に放流を予定しています。

また、あゆの稚魚（体長1センチあまり）を現在200万匹をメインプールで飼育しております。えさになるプランクトンの飼育を含めて見学しました。

この広島市水産振興センターでは、魚と漁業に関する知識を普及啓発するため、小学校3～6年生の子供さんとその保護者の方を対象に、海辺の教室を毎月第3日曜日（11月を除く）に開催されています。



広島市水産振興センター

広島市西区商工センター8-5-1

見学の様子



第 547 回 2007 年 11 月 5 日

会長時間



11 月誕生祝い

沖西 誠想会員 昭和 25 年 11 月 16 日 57 歳
藤岡 哲也会員 昭和 17 年 11 月 1 日 65 歳



<ロータリー財団月間について>

直前会長 河内 正晴会員



今月はロータリー財団月間です。RI会長のメッセージにもある様にロータリー財団がなければロータリーの多くのプログラムは存在しなかったとおっしゃっていらっしゃいます。会員皆様の更なるご理解をたまわり、財団への支援をよろしくお願い致します。

<今回の職場訪問について>

奉仕プロジェクト常任委員会理事
渡邊 英晶会員



今日は、河川、広島湾の現状と生息する魚を中心に環境保全に対する卓話がありました。広島廿日市ロータリークラブが今年度掲げる水プロジェクト、自然環境保全に対する理解とわれわれに求められていることは何かについて会員さんの参考になれば光栄です。

のちほど卓話にて、永井理事より詳しい内容の説明と、お願いがあると思います。

先日の地区大会において、RI会員賞、ガバナ一賞をいただきました。会員増強、またRCCの地域への活動等が評価されたことに対し、全会員の皆様の努力に感謝申し上げます。これも合せて、有田会長セレクトから詳しく報告が有ると思います。

最近、マスコミの報道で企業のコンプライアンスの問題が大きく取り上げられています。職業を通じ社会へ奉仕していく、ロータリアンの会員の皆様と、しっかりとした職業倫理について考えていきたいものだと思います。

幹事報告

① 歴代会長会について

明日 11/6 (火) 18:30～「ひなの料亭 地御前」におきまして歴代会長会を開催します。ご関係の方は、ご参集ください。

② 理事会について

本日例会終了後 13:40～ 3階「末広の間」におきまして、定例理事役員会を開催します。ご関係の方は、ご参集ください。

◇同好会報告

<米山奨学生継続支援活動>



奨学金を受け取る朴勝恵(パク スンヘ)さん



スマイルボックス

★誕生日

藤岡 哲也会員
沖西 誠想会員

★結婚記念月

吉野 篤敬会員
太田 泰宏会員
重本 繁行会員

★妻の誕生日

中本 昭文会員

★創業月

河内 正晴会員

★11/3 廿日市市民文化祭のお礼

重本 繁行会員

卓話

<ロータリー財団の組織と使命>

ロータリー財団 常任委員会
理事 永井 勝康会員



ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC. クランフが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをする為に基金をつくらう」と提案したことに始まり、現在は非営利財団法人となっています。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみですので、国際ロータリーと法的に組織は違っても、目的・使命・活動は両者ともに一体のものです。

「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レ

ベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流を通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、括世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」となっています。

国際的活動のみではなく、地域レベル、全国レベルの活動を加えることによってロータリー財団活動の基盤と範囲がさらに広がっています。標語としては「世界でよいことをしよう」。

〈ロータリー財団の車の両輪〉

ロータリー財団の車の両輪は、ロータリー財団への寄付と、ロータリー財団プログラムです。

ロータリー財団への寄付は3種類あります。

1. 年次寄付

用途を決めずに寄付し、3年後にその寄付金をプログラムに使います。「毎年あなたも100ドル」を推進しています。年次寄付の用途を選ぶ方法はシェア・システムによります。年次寄付の50%が地区財団活動資金で、50%が国際財団活動資金です。以前、ポールハリスフェロー、準フェローと呼んでいたものを再定義し、毎年年次寄付を100ドル以上する人が財団の友です

2. 恒久基金への寄付

元金を使わない基金で、投資収益のみを財団プログラムに毎年使います。当地区の目標は各クラブベネファクター1名以上です。ベネファクターとは恒久基金に1000ドル以上寄付したか、遺贈の受取人としてロータリー財団を指名したことを通知した人のことをいいます。

3. 用途指定寄付

使い道を決めて寄付するもので、ポリオ・プラス、ポリオ・プラス・パートナー、マッチング・グラントの提唱者側の寄付になります。

ロータリー財団月間1964～65年度RI理事会と管理委員会は毎年11月15日を含む1週間をロータリー財団月間と定めた。その後、1983～84年度に11月をロータリー財団月間と決めました。

ロータリー財団プログラムもまた、教育的プログラム、人道的プログラム、ポリオ・プラス・プログラムがあります。

1. 教育的プログラム

・国際親善奨学金

民間レベルでは世界最大規模の奨学金制度で、財団設立以来、全世界の奨学生数は37000人になります。全世界で年間約1000人の奨学生がおり、日本においては年間約240人が奨

学生となっています。

①1学年度(9ヶ月)の国際親善奨学金

②マルチ・イヤー国際親善奨学金・・・学位取得を目的とし、2年間

③文化研修のための国際親善奨学金・・・3ヶ月または6ヶ月の語学強化研修と、相手国の文化に溶け込むことを目的とする

・研究グループ交換(GSE)

1965年に発足したロータリー財団の国際交流プログラムです。25歳から40歳のチーム・メンバー4人とロータリアンのチーム・リーダーがGSEチームを構成し2カ国がGSEチームを交換し、互いの文化や職業について学ぶものです。記憶に新しいものでは、韓国とのGSEを一昨年行っています。

2. 人道的補助金プログラム

・保健・飢餓追放及び人間性尊重(3-H)補助金

国際間の理解、親善及び平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的発展を計ることを目的とします。

・地区補助金

国内または地区内の社会奉仕プロジェクトにロータリー財団が補助金を出すというものです。受け取った補助金の少なくとも50%を使わなければ翌年度の補助金を受け取るのに差し支えがあります。使い道としては植樹、お祭りや行事への協賛、ゴミ拾い等。総事業費の半額以内、30万円を上限に補助がでます。

・マッチング・グラント

ある国のロータリークラブが人道的プロジェクトを実施しようとしたが、資金や専門知識が不足している場合、海外に援助を求めます。また、他の国のために尽くしたいと思っているロータリークラブや地区が、貢献できる場を探します。このようなケースに役立つのがマッチング・グラントです。

3. ポリオ・プラス・プログラム

・ポリオ・プラス・プログラム

1980年代初めに、計画したロータリー史上最も意欲的なプログラムが、世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムでした。1985年、ポリオとともに、ハンカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同日追放を目的とした、世界的なポリオ撲滅運動がポリオ・プラス・プログラムです。ポリオ・プラスの目標は2000年までに撲滅、2005年までにポリオの撲滅を証明することでした。1990年には米州地域で、2000年には西太平洋地域で、2002年にヨーロッパ

地域でそれぞれポリオ根絶宣言が出されています。2006年奨励数が1000件以下という根絶手前までできており、残りはインド・パキスタン・ナイジェリア・アフガニスタンの4カ国のみとなっています。

- ・ポリオ・プラス・パートナー・プログラム
前述のように、世界はポリオ撲滅に近づいていますが、アフリカとアジアにはポリオの野生種が残っています。ですから、一戸一戸の家を訪問し、両親に予防接種の必要性と予防接種の方法を説明し、ワクチンを接種するボランティアを組織しなければなりません。このための手段がポリオ・プラス・パートナー・プログラムです。ポリオ・プラス・パートナー・プログラムは2006年7月現在4プロジェクトあり、金額にして135万ドル以上必要です。皆様の支援を必要としております。

最後になりましたが、11月はロータリー財団です。全クラブが同時に財団月間を実施します。この月間はクラブが財団プログラムを支援、推進、参加する特別の期間ですので、皆さんも進んで参加しましょう。

<地区大会報告>

副会長 有田 伸治会員



2007-08年度 国際ロータリー第2710地区に於ける地区大会の報告をさせていただきます。

まず初めに、金子ガバナーより、本年度のRI会長ウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が訴えられている次のことが伝えられました。

それは、<「ロータリーは分かち合いの心」のテーマのもと、4つの強調事項(①識学率向上 ②水保全 ③保健と飢餓救済④ロータリー家族)に対する奉仕の実践>ということでした。出席者は、RI会長代理として、浦和北ロータリークラブの半田昭雄様ご夫妻、二井開

成 山口県知事、野村興兒 萩市長、さらに、2710の地区の姉妹地区であるRI3690地区より朴亨培総裁ご夫妻をはじめ、同地区のロータリアン53名の臨席を頂き本会議が始まりました。

初めに、各来賓の方々にご挨拶を頂き、その後、決議採択に入りました。本会決議と致しましては、<我々ロータリアンは、国際ロータリー会長の提唱されたテーマに従って、より一層あらゆる分野において、ロータリーの奉仕活動に邁進する>ということを決議致しました。また、その他8項目に付きましても決議致しました。

午後からは、国土審議会委員、教育再生会議委員を務め、小淵内閣「21世紀日本の構想懇談会」の中心メンバーでもあった方で、現在は静岡文化芸術大学学長の川勝平太氏による記念講演がございました。演題は「地方発!!人づくり 国づくり」ということで講演をされました。

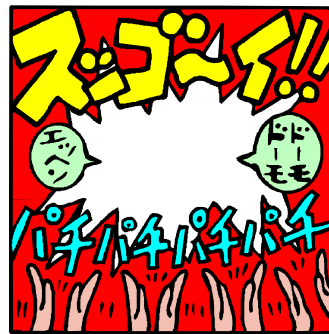
続きまして、新会員アワーとして3名の新会員の方の意見発表がございました。これは地区会員の基盤強化を目的として行われたものです。発表者の選出については、

- ①入会3年未満の会員とする。
- ②地区内より3名を選出する。
- ③1名は女性とする。

などが要項にございました。その結果、宇部ロータリークラブ 作村良一会員、広島東南ロータリークラブ 大田玲子会員、福山東ロータリークラブ 矢吹泰孝会員が参加されました。

その後、青少年交換学生紹介、米山記念奨学生紹介、GSE受入メンバー紹介が行われました。我が広島廿日市ロータリークラブからは、青少年交換学生の高橋しおりさんが出席して自己紹介をされました。

そして、この地区大会において我が広島廿日市ロータリークラブが栄えある「ガバナー賞」と「RI会長賞」を受賞致しましたので、ご報告させていただきます。



以上、地区大会の主な経過を報告させていただきました。ありがとうございました。

四つのテスト

THE FOUR WAY TEST

言行はこれに照らしてから

of the things we think, say or do

I 真実か どうか

is it the truth?

II みんなに公平か

is it fair to all concerned?

III 好意と友情を深めるか

will it build good will and better
friendships?

IV みんなのためになるか どうか

will it be beneficial to all con-
cerned?